

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： カウンセリング I ナンバリング：2329	保育士資格取得のための 選択科目	単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：布施由起 担当形態：単独
系列	保育の内容・方法に関する科目		
教科目			
授業の到達目標及びテーマ 1. カウンセリングの基礎的な理論や技法を理解できる。 2. ピアヘルピングに関する基礎的な知識・スキルを理解できる。 3. ピアヘルピングを実践することができる。			
授業の概要 カウンセリングの理論、技法、歴史やその種類について学ぶと共に、カウンセリングスキルを習得し、ピアヘルピングを実践するための力も身につける。			
授業計画 第1回：イントロダクション ピアヘルパーとは 第2回：カウンセリングの定義と歴史 第3回：カウンセリングの種類 第4回：ピアヘルピングの関係領域 第5回：ピアヘルパーの仕事とピアヘルパーに求められる資質 第6回：ピアヘルピングのためのカウンセリングスキル① 第7回：ピアヘルピングのためのカウンセリングスキル② 第8回：ピアヘルピングのためのカウンセリングスキル③ 第9回：ピアヘルピングのためのグループワーク① 第10回：ピアヘルピングのためのグループワーク② 第11回：児童期、青年期の発達 第12回：ピアヘルパーの心構えと留意点 第13回：ケーススタディ 第14回：ピアヘルピング体験 第15回：全体のまとめ 定期試験：レポート		授業時間外の学習 ・教科書や授業内で配布したプリントをもとに、前回の内容を確認し、次回の学習内容についても確認しておくこと。 ・ピアヘルピングの特徴について理解したことをまとめる。 ・授業内で紹介する参考文献を読み、カウンセリングスキル、グループワークについて理解を深める。 ・ピアヘルピング活動の留意点について、授業内で配布したプリント及び参考文献からまとめる。 ・ピアヘルピング体験を振り返って、今後の課題についてまとめる。 ・授業前後には、合わせて1時間程度の自主学習を要する。	
授業の方法 講義、グループ演習、ロールプレイを行う。單元ごとの小レポートにフィードバックを行う。			
テキスト 『ピアヘルパーハンドブック』 日本教育カウンセラー協会（編） 図書文化社			
参考書・参考資料等 授業時にプリントを配布。また、参考文献等は授業時に紹介する。			
学生に対する評価 授業参画 (30%)、小レポート (20%)、定期試験 (50%)			
履修上の注意 ・授業にははじめに取り組むこと。理由のない欠席は認めない。 ・受講にあたっては事前事後の学習を行い、グループ演習やロールプレイには積極的に取り組むこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	精神科クリニック勤務 (臨床心理士、公認心理師)
実務経験を活かした教育内容 精神科クリニック勤務の経験を活かして、ロールプレイを取り入れた実践的な演習を行う。			

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： カウンセリングⅡ ナンバリング：2330	保育士資格取得のための 選択科目	単位数：2単位 (半期) 演習	担当教員名：布施由起 担当形態：単独
系列	保育の内容・方法に関する科目		
教科目			
授業の到達目標及びテーマ 1. カウンセリングの理論を説明できる。 2. ファシリテーターとして、エンカウンターグループを実践できるようになる。 3. ピアヘルピングを実践できる。			
授業の概要 ピアヘルピングを実践するために必要となるカウンセリングの理論と技法についての理解を深めロールプレイやグループワーク演習、サポート体験を通して実践力の向上を目指す。			
授業計画 第1回：イントロダクション カウンセリングとは 第2回：カウンセリングの理論と技法① 第3回：カウンセリングの理論と技法② 第4回：ロールプレイ、グループワーク演習① 第5回：ロールプレイ、グループワーク演習② 第6回：小テスト ピアサポートとは 第7回：ピアサポートの導入、計画 第8回：ピアサポートの方法① 第9回：ピアサポートの方法② 第10回：ピアサポートの方法③ 第11回：小テスト ピアサポート体験① 第12回：ピアサポート体験の振り返り 第13回：ピアサポート体験② 第14回：ピアサポート体験の振り返り 第15回：全体のまとめ 定期試験：レポート		授業時間外の学習 授業前後には、合わせて1時間程度の自主学習を要する。 ・教科書や授業内で配布したプリントをもとに、前回の内容を確認し、次回の学習内容についても確認しておくこと。 ・カウンセリングの理論、技法について、教科書や授業内で配布したプリントをもとに理解したことをまとめる。 ・ロールプレイ、グループワーク演習、ピアサポート体験を振り返り、今後の課題、改善点をまとめる。	
授業の方法 講義、グループ演習、ロールプレイを行う。單元ごとの小レポートにコメントを入れて返却する。			
テキスト 授業中に資料を配布する。			
参考書・参考資料等 『ピアヘルパーワークブックーやって身につくカウンセリング練習帳』 日本教育カウンセラー協会編 図書文化社			
学生に対する評価 授業参画(30%)、小レポート(20%)、期末レポート(50%)			
履修上の注意 ・受講にあたっては、事前事後の学習を行い、グループ演習やロールプレイには積極的に取り組むこと ・事前に「カウンセリングⅠ」を受講していることが望ましい。			
実務経験の有無	有	実務経験	精神科クリニック勤務（臨床心理士、公認心理師）
実務経験を活かした教育内容 精神科クリニック勤務の経験を活かして、実践的なロールプレイ等を取り入れて演習を行う。			